

# 大分大学 「ホームカミングデー2016」を開催

大分大学は、11月6日（日）に「ホームカミングデー2016」を開催し、県内外から集まった同窓生が懐かしい旧友と交流を深めました。

「ホームカミングデー2016」は、今年4月に新たにオープンした、学生交流会館 *B. Forêt* (ビ・フォーレ) で行われ、第一部「交流会」では、北野正剛学長より大学を取り巻く状況や、平成29年度に工学部から改組する「理工学部」並びに経済学部新たに設置する「社会イノベーション学科」の紹介等を行うとともに、同窓会・同窓生の皆様に、本学との交流と親睦が一層促進されること、また、本学の今後の更なる発展のためにご支援・ご協力をお願いしたいとの発言がありました。

続いて、大分大学同窓会連合会の秦会長よりご挨拶をいただいた後、同窓生を代表して、大分大学医学部看護学科の清村教授より「いのちのバトン～私たちの未来へ、看護職として伝えるメッセージ～」と題し講演がありました。

最後に、各学部長・研究科長より各学部・各研究科の現状等を説明しました。

第二部「懇親会」では、元学長の野村新先生より挨拶があった後、立食形式で自由にご歓談いただきました。同窓生は、旧友、恩師、教員らと昔話に花を咲かせ、会場は大いに盛り上がりました。

同窓生からは「聞きやすく、食べやすくとてもいい会だった」、「講演が非常に有意義だった」といった感想が寄せられました。



(左から) 交流会で挨拶する北野学長， 秦同窓会連合会会長



(左から) 交流会で同窓生を代表して講演する 清村様  
懇親会で乾杯の挨拶をする玉樹会 高倉会長  
懇親会で最後の挨拶をする翔工会 松尾会長



合同交流会会場風景



懇親会での野村新名誉教授の代表挨拶